

「ふくしまし健康づくりプラン2024(素案)」の概要について

1 計画策定の趣旨

現在の「ふくしまし健康づくりプラン2018」は平成29年度に策定し、関係機関・団体等と連携を図りながら健康増進施策をすすめてきました。少子高齢化による人口構成の変化、生活習慣病の増加、これら疾病や高齢化に起因する要介護状態の人々の増加など、社会の変化に対応し、健康寿命の延伸をめざして健康づくりを推進していくため、「福島市総合計画」を踏まえ、国、県がそれぞれに策定する「健康日本21(第三次)」「第三次健康ふくしま21計画」との整合性をはかり「ふくしまし健康づくりプラン2024」を策定するものです。

2 計画期間(3P)

令和6年度から令和11年度までの6年間です。

3 根拠法令、上位計画の概要

健康増進法第8条に基づき策定するものです。

4 計画の基本理念(46P)

「生涯にわたって安心して健康で暮らせるまち～みんなで創る 健都ふくしま～」

5 計画の基本目標(47P)

健康寿命の延伸

6 計画の基本方針(48P)

市民、民間、行政等総ぐるみの健康なまちづくりの推進

- (1)一人ひとりの健康に関する生活習慣づくり
- (2)生活習慣病の発症予防と重症化予防
- (3)健康を支え、守るための社会環境づくり

7 基本方針を進めるための推進方策(49P)

「健都ふくしま創造」市民運動として、「一人ひとりの健康を応援する健康づくり」「地域の健康づくり」「職場の健康づくり」の3つの柱で推進します。

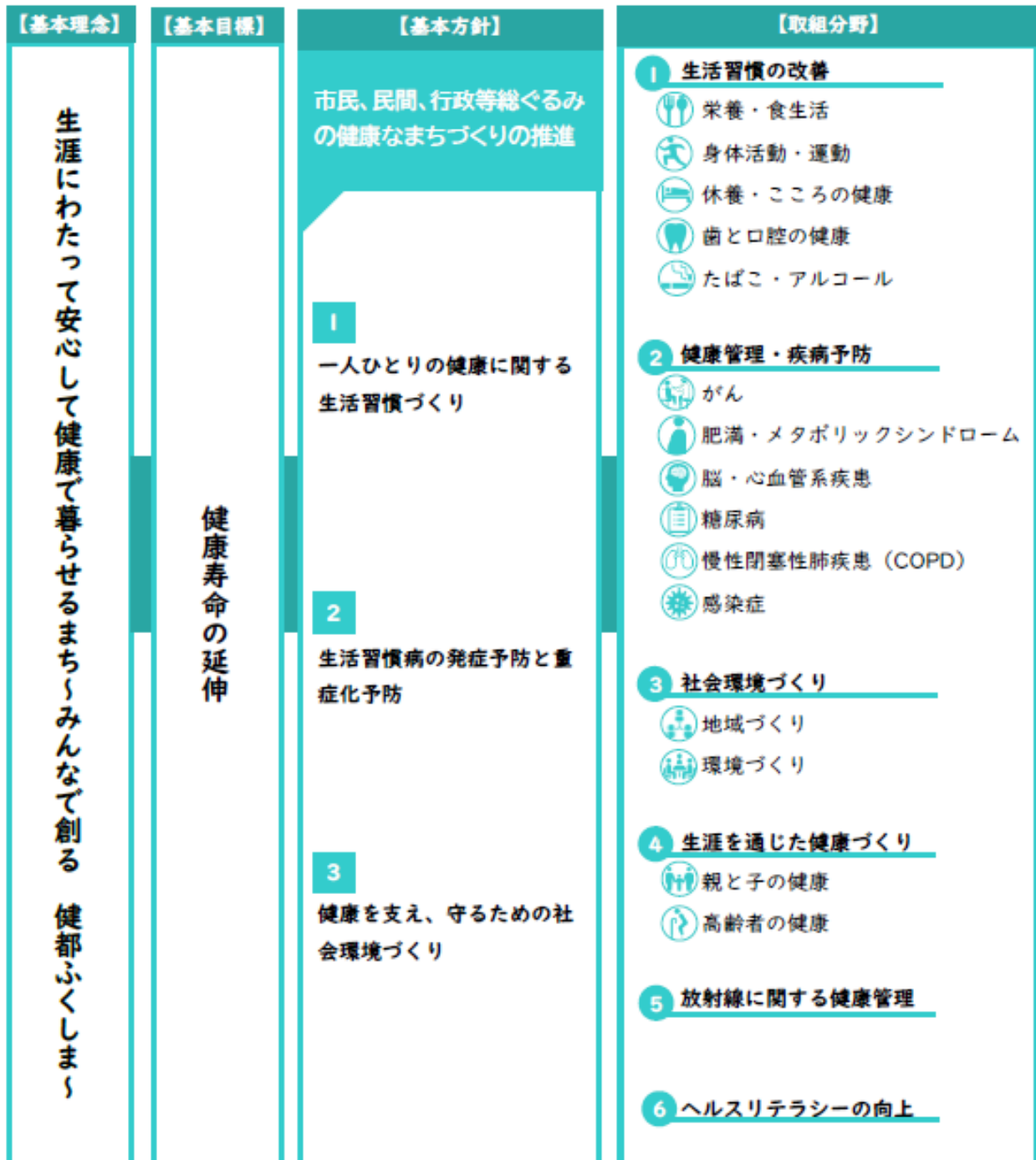
8 基本方針を進めるための取組分野(50P)


- | | |
|------------------|----------------|
| (1)生活習慣の改善 | (3)社会環境づくり |
| ○栄養・食生活 | ○地域づくり |
| ○身体活動・運動 | ○環境づくり |
| ○休養・こころの健康 | (4)生涯を通じた健康づくり |
| ○歯と口腔の健康 | ○親と子の健康 |
| ○たばこ・アルコール | ○高齢者の健康 |
| (2)健康管理・疾病予防 | (5)放射線に関する健康管理 |
| ○がん | (6)ヘルスリテラシーの向上 |
| ○肥満・メタボリックシンドローム | |
| ○脳・心血管系疾患 | |
| ○糖尿病 | |
| ○慢性閉塞性肺疾患(COPD) | |
| ○感染症 | |

9 計画等の構成

- 第1章 計画の策定にあたって
- 第2章 福島市の現状
- 第3章 ふくしまし健康づくりプラン2018評価
- 第4章 計画の基本的な考え方
- 第5章 ふくしまし健康づくりプラン2024推進施策
- 第6章 計画の推進にあたって
- 参考資料

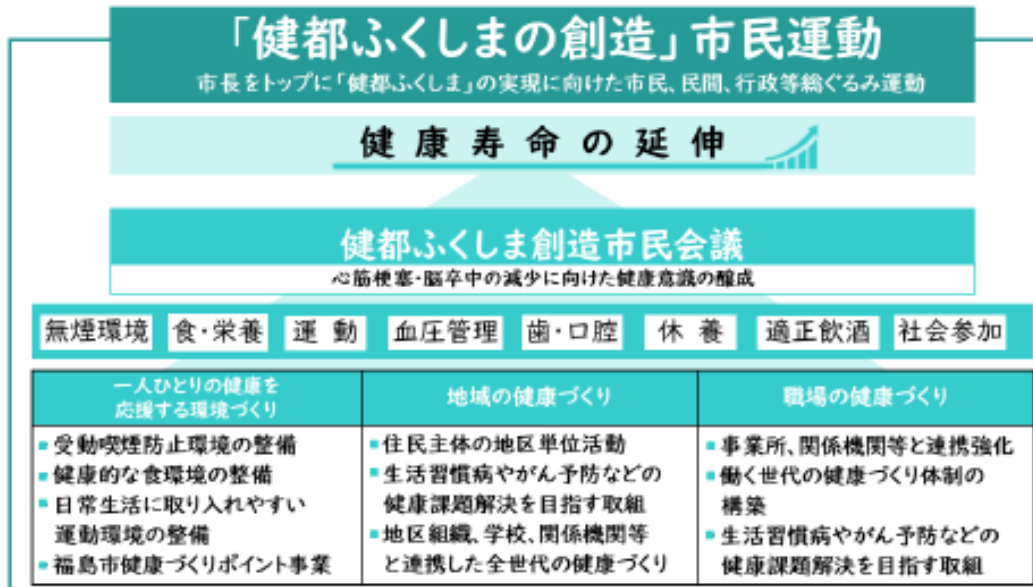
10 計画の体系



 **ヘルスリテラシー**…健康や医療の情報を入手し、理解して活用する力のこと。健康や医療の情報を発信する側がわかりやすく正確に伝えることも求められる。

11 推進方策

健康寿命を延伸し、すべての市民が地域で健やかに暮らす「健都ふくしま」の実現をめざし、「一人ひとりの健康を応援する環境づくり」「地域の健康づくり」「職場の健康づくり」の3つの柱により具体的な取組体制を整備していきます。



市民を中心に、民間（施設、民間団体、事業者等）、行政、三位一体による推進体制で取り組んでいきます。

健康づくりの推進にあたっては、これまで継続してきた様々な取組に加えて、デジタル社会に対応した ICT 技術の活用や大学等の高等教育研究機関との連携、山岳信仰に由来する「健脚文化」を健康なまちづくりにつなげる新たな取組にもチャレンジします。



※信夫山の羽黒神社に奉納される大わらじは、より一層の「健脚」を祈願する意味が込められています。